

事業所名

それいゆ児童発達支援センター

支援プログラム

作成日

R6

年

12 月

12 月

1 

1 

法人（事業所）理念		自閉症児・者が、地域社会の中でより豊かに、人間らしく生きていくために、自閉症の文化を尊重し、個々の特性に応じた適切な手立てと支援を行い、人との関係、自発性や自己表現の力を伸ばし、「自立」と「共存」を目指す。											
支援方針		未就学児を対象に、その子なりの将来の自立を見据え、日常生活における基本的動作を取得し、集団生活に適應することができるよう、子どもの状況や家庭及び地域社会での生活の実態についてアセスメントを適切に行い、その上で子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、それに応じた個別支援計画書に沿って、適切な指導及び訓練を行う。このような指導及び訓練を通して、子どもの自尊心や主体性を育て、子どもが安心感や信頼感を持って活動できるように支援を提供する 保育所等訪問支援等を活用し、療育の場以外での地域での生活が安定して過ごせるよう関係機関と連携し、支援を提供する											
営業時間			9	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	子どもの特性やニーズに合わせて、必要な手立てを使いながら移動、荷物の準備・片づけ、排泄、食事（給食を提供）、着替えなどを自立して活動ができるように支援し基本的生活スキルの獲得を目指す											
	運動・感覚	子どもの特性や理解に合わせて必要な手立てを使用しながら日常生活で使用する動作を中心に手先を使う活動、体を動かす活動に取り組む。感覚の特性を踏まえて活動設定・環境調整等の支援を行う。											
	認知・行動	子どもの特性やニーズ、発達段階などに合わせて認知に関する課題や自己認知などの教材を準備し理解が進むように支援していく （プットイン・マッチング・分別・組み立て分解・文字と数・感情学習など） 年長児は就学に向けた学習（学校のしくみ等）に取り組む。											
	言語 コミュニケーション	子どもの特性やニーズに合わせて、本人に合ったコミュニケーションの方法を見つけ、適切なコミュニケーションが取れるように支援する											
	人間関係 社会性	子どもの特性やニーズに合わせた手立てを用いて人と関わる場面や公共の場所での適切な対人関係スキルを身につけることができるように支援する。また、学習したスキルの確認と練習の場面として行事などのグループ活動の機会を計画し提供する											
家族支援		連絡帳や利用後引き渡しの時に、学習内容や様子について情報共有する。 意見交換を目的とし、年3回程度保護者交流会を開催する。 受給者証のない方対象の親子教室（週に1回全10回コース）の開催 ペアレントトレーニング								移行支援		センターでのアセスメントを基に家庭や園で使える手立てを考え情報提供を行う。必要時には保育所等訪問を提案する 年長児には、小学校に関する学習を通して、進学後の安心できる環境を整える	
地域支援・地域連携		保育所、幼稚園、学校等を訪問し、集団生活に適應できるよう、専門的な知見から支援を行う 会議などに参加する								職員の質の向上		職員研修：年間11回　4月に集中研修を2日間 外部コンサルタントによるコンサルテーション、研修 外部研修に参加	
主な行事等		【週5日利用コース】遠足、いもほり、避難訓練、クリスマス会、卒園・終了式など 【週1日利用コース】夏祭り、避難訓練、クリスマス会、ゲームなど　（グループによって行事内容が変わります）											